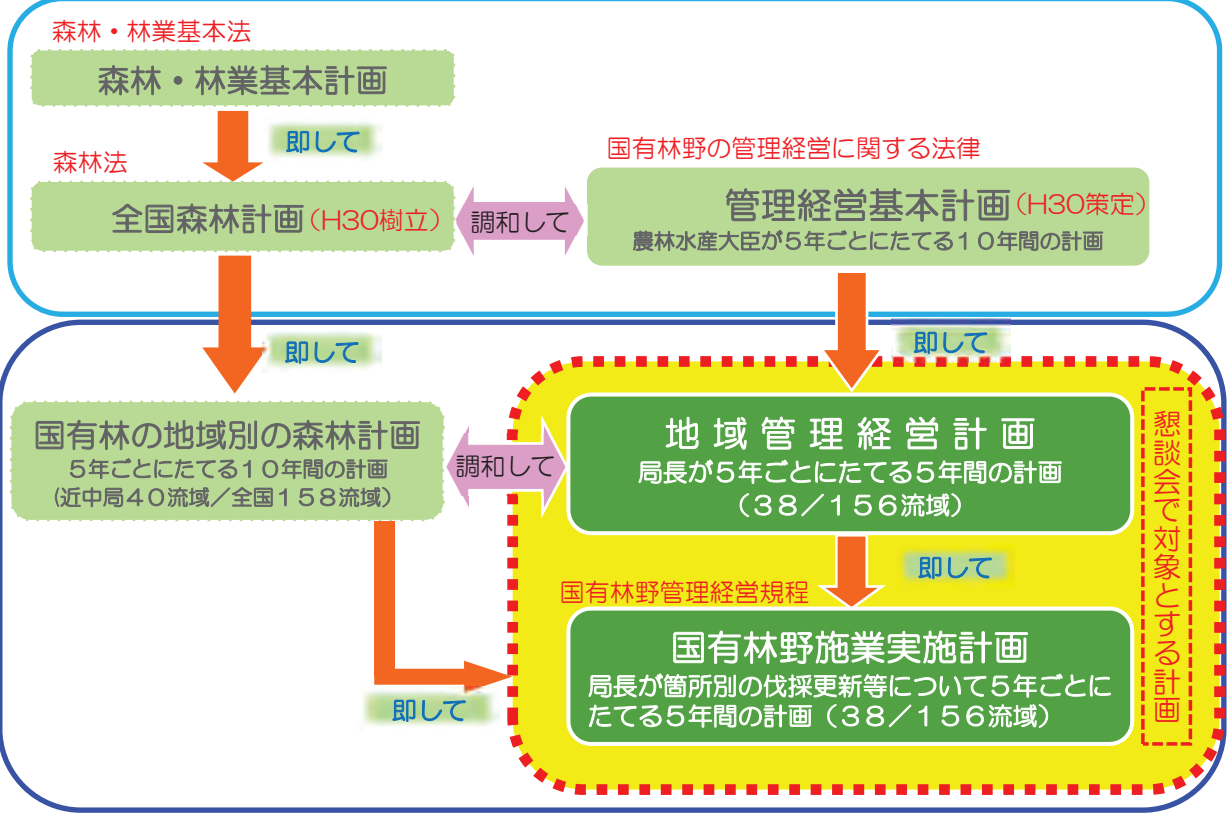


# ◇令和3年度地域管理経営計画等に関する有識者懇談会◇ 地域管理経営計画（案）等の概要

「白山森林生態系保護地域周辺：三方岩岳から白山を望む」  
加賀森林計画区：蛇谷国有林（白山市）

近畿中国森林管理局

## 国有林の計画制度の概要



# 「国有林野の管理経営に関する基本計画」 (H30策定)

## ◎ 基本方針

### (1) 公益重視の管理経営の一層の推進

- ① 重視すべき機能に応じた管理経営の推進
- ② 治山事業の実施
- ③ 路網の整備
- ④ 地球温暖化対策の推進
- ⑤ 生物多様性の保全治山事業の推進

### (2) 林業成長産業化に向けた貢献等

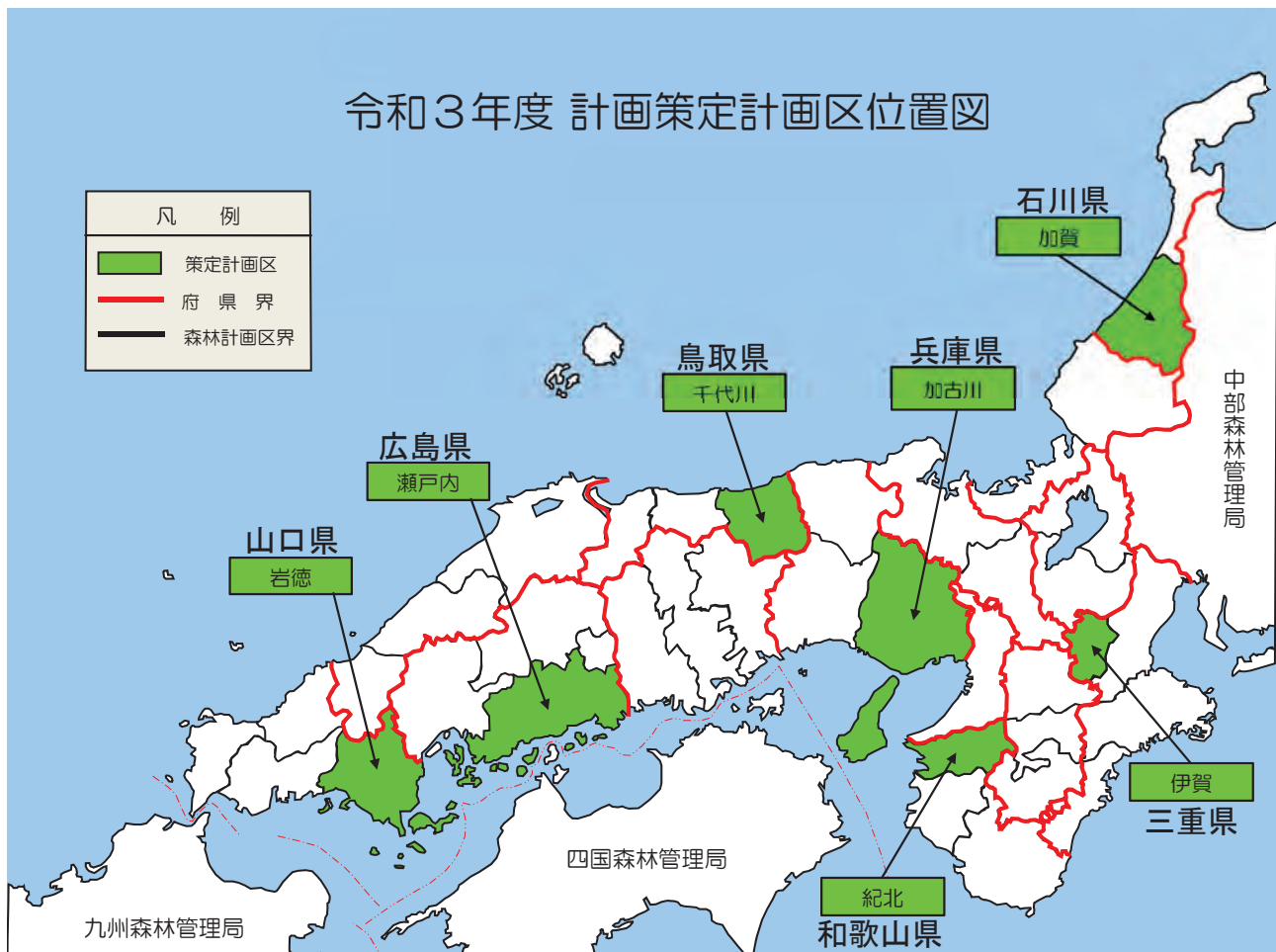
- ① 林業の成長産業化等に向けた技術開発・実証と普及
- ② 林業事業体の育成
- ③ 民有林と連携した施業や民有林材との協調出荷の推進
- ④ 森林・林業技術者等の育成と森林総合監理士（フォレスター）等による技術支援・意欲と能力のある林業経営者の育成支援

### (3) 国民の森林としての管理経営

- ① 国有林野事業への理解と支援に向けた多様な情報受発信
- ② 森林環境教育の推進
- ③ 森林の整備・保全等への国民参加

基本計画に即し、地域管理経営計画を策定

## 令和3年度 計画策定計画区位置図



## 地域管理経営計画の主な内容（共通）

- 1 管理経営に関する基本的な事項
- 2 国有林野の維持及び保存
- 3 林産物の供給
- 4 国有林野の活用
- 5 公益的機能維持増進協定
- 6 国民参加による森林の整備
- 7 その他国有林野の管理経営

## 地域管理経営計画の主な内容（共通）

- 1 管理経営に関する基本的な事項
  - (1) 国有林野の管理経営の基本方針
  - (2) 機能類型に応じた管理経営
  - (3) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献
  - (4) 主要事業の実施
  - (5) その他必要な事項

## 1 管理経営に関する基本的な事項

### (1) 国有林野の管理経営の基本方針

●個々の国有林野を重点的に発揮させる機能によって5つに区分し、それぞれの機能区分ごとに公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を推進

山地災害防止タイプ



水源涵養タイプ



森林空間利用タイプ



自然維持タイプ



快適環境形成タイプ



7

## 5つの機能類型

### 山地災害防止タイプ

災害に強い国土基盤を形成する観点から、山地災害防止及び土壌保全機能、風害、霧害等の気象災害を防止する機能の発揮を第一とすべき国有林野

### 自然維持タイプ

生物多様性の保全を図る観点から、原始的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき国有林野

### 森林空間利用タイプ

国民に憩いと学びの場を提供したり、豊かな自然景観や歴史的風致を構成したりする観点から、保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき国有林野

### 快適環境形成タイプ

騒音や粉塵等から地域の快適な生活環境を保全する観点から、快適環境形成機能の発揮を第一とすべき国有林野

### 水源涵養タイプ

良質な水の安定供給を確保する観点から、水源涵養機能を全ての国有林野において発揮が期待される基礎的な機能と位置づけ、上記のタイプに掲げるものを除く全ての国有林野

8

## 1 管理経営に関する基本的な事項

### (2) 機能類型に応じた管理経営 (水源涵養タイプでの森林づくりイメージ)



9

## 1 管理経営に関する基本的な事項

### (3) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

- 流域（森林計画区）を単位として、民有林と国有林が連携して森林整備等を推進
- 流域内で優先的に取り組むべき課題
  - ① 林業事業者の育成
  - ② 民有林と連携した施業の推進
  - ③ 森林・林業技術者等の育成
  - ④ 林業の低コスト化等に向けた技術開発

10

1 管理経営に関する基本的な事項  
 (3) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

① 林業事業者の育成

- 森林共同施業団地の設定等による事業量の確保
- 人材育成対策へのフィールド提供や講師派遣等の技術的支援
- 林業経営者への受注機会の拡大
- 現地検討会等を通じた林業経営者の育成



林業事業者との意見交換（近畿中国森林管理局）



林業事業者との現地検討会（コンテナ苗の植栽）  
 （瀬戸内：鷹ノ巣山国有林：東広島市）

1 管理経営に関する基本的な事項  
 (3) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

② 民有林と連携した施業の推進（森林共同施業団地）

民有林と「森林共同施業団地」を設定し、相互が連結した路網の整備、土場の共同利用、民有林材との協調出荷によって事業の効率化、低コスト化を実現

（令和3年8月1日現在）



連絡調整会議（団地の活用）  
 （千代川：小舟山地域森林共同施業団地：若桜町）

府県	森林計画区	箇所
三重県	北伊勢	1
	尾鷲熊野	1
京都府	由良川	1
奈良県	北山・十津川	1
和歌山県	紀中	1
鳥取県	千代川	1
島根県	斐伊川	4
	江の川下流	4
	高津川	6
岡山県	高梁川下流	3
	旭川	1
	吉井川	1
広島県	江の川上流	1
	高梁川上流	1
	太田川	3
山口県	山口	2
計		32

1 管理経営に関する基本的な事項

(3) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

③ 森林・林業技術者等の育成

- フォレスター等の技術者育成への取り組み
- 森林経営管理制度の導入を踏まえ、府県と連携して市町村の森林・林業行政を技術支援



市町村森林整備計画策定支援  
(加賀：白山市)



低密度植栽試験地における現地検討会  
(瀬戸内：新元重山国有林：福山市)

1 管理経営に関する基本的な事項

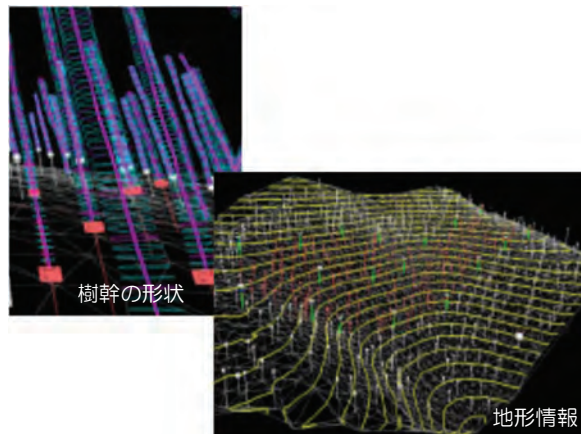
(3) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

④ 林業の低コスト化等に向けた技術開発

- 民有林における公的管理や林業経営への普及を念頭に、早生樹やICT（情報通信技術）を活用した効率的な森林管理・木材生産手法を開発・実証
- 国有林野を活用した現地検討会等の実施



3Dレーザースキャナによる森林調査  
(岩徳：城山国有林：岩国市)



専用ソフトを使用した森林資源の情報化・解析

(4) 主要事業の実施

●主伐、更新

- ・自然条件や社会的条件を考慮して実施箇所を選定
- ・造林コストや花粉の少ない森林への転換、鳥獣被害に配慮しつつ、着実な再造林を推進
- ・伐採と造林の一貫作業システムの導入

●間伐、保育

- ・健全な森林の育成、多様な森林への誘導を図るため、適切に実施

●路網整備

- ・林産物の搬出のみでなく、森林施業により森林の公益的機能が高度に発揮されるよう、自然・社会的条件を考慮しつつ計画的に整備

●治山事業

- ・「森林整備保全事業計画」に基づき、民有林治山事業と連携して計画的に実施



主伐計画林分  
(千代川：櫛波園有林：智頭町)



山腹工施工地  
(加古川：近江北山国有林：神戸市)

主要事業量（主・間伐）

（単位：m<sup>3</sup>）

森林計画区	主伐	間伐	臨時伐採	計
加賀	800	13,187	8,000	21,987
伊賀	384	6,646	1,000	8,030
加古川	5,912	57,817	3,000	66,729
紀北	34,417	70,768	2,500	107,685
千代川	48,166	217,629	13,000	278,795
瀬戸内	61,596	208,156	20,000	289,752
岩徳	6,614	40,548	1,000	48,162
計	157,889	614,751	48,500	821,140
対現計画比	83%	109%	109%	103%
現計画量	190,772	561,471	44,500	796,743

注：臨時伐採は、計画策定時点で箇所付けができないもの。（事業実行上の支障木、病害虫による被害木等）



## 主要事業量(更新・保育・林道・治山)

森林計画区	更新 (ha)	保育		林道		治山	
		下刈 (ha)	除伐 (ha)	開設 (m)	改良 (m)	施設 (箇所)	整備 (ha)
加賀	21.27	2.98	9.65	-	20	7	29.60
伊賀	6.35	-	1.01	-	-	3	-
加古川	24.30	72.90	9.53	-	-	8	19.54
紀北	188.52	571.24	29.18	-	90	3	52.28
千代川	177.19	439.12	4.75	2,720	1,630	8	-
瀬戸内	223.11	792.79	81.05	2,546	43	12	51.21
岩徳	36.55	42.15	2.89	-	-	12	188.18
計	677.29	1,921.18	138.06	5,266	1,783	53	340.81
対現計画比	107%	109%	48%	32%	379%	85%	330%
現計画量	634.10	1,760.37	285.02	16,596	470	62	103.26

17

## 地域管理経営計画の主な内容（共通）

### 2 国有林野の維持及び保存

- (1) 巡視
- (2) 森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止
- (3) 特に保護を図るべき森林
- (4) その他必要な事項

18

(3) 特に保護を図るべき森林（保護林、緑の回廊）

- 我が国の気候帯や森林帯を代表する原生的な天然林、地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を「保護林」に設定
- 個々の保護林等を連結し、野生生物の生育・生息地の拡大と相互交流を可能とし、より効果的に森林生態系を保護・保全するため「緑の回廊」を設定



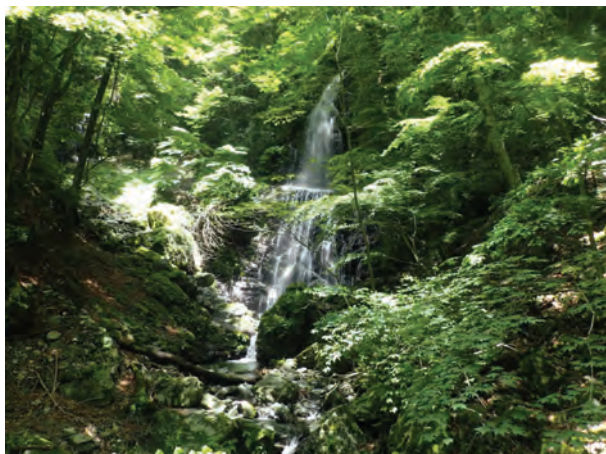
白山山系緑の回廊  
（加賀：蛇谷国有林：白山市）



寂地山ブナ・スギ希少個体群保護林  
（岩徳：寂地国有林：岩国市）

(4) その他必要な事項（溪畔周辺の人工林の取扱い（けいはんりん 溪畔林））

- 生物多様性の保全上重要な溪畔部については、本来成立すべき植生によって上流から下流までの連続性を確保するため、「けいはんりん 溪畔林」を設定し、人工林は針広混交林や広葉樹林へ誘導



「溪畔林」の一例



「宇佐川溪畔林」（新規）  
岩徳：右谷国有林：岩国市

#### (4) その他必要な事項（ニホンジカ等の被害対策）

- 防護柵の設置等による林木保護
- 罠いわな、くくりわな等によるシカ捕獲
- 効率的・効果的な捕獲技術の普及
- 地元自治体や鳥獣被害対策協議会等との連携



防護柵の設置  
（紀北：高野山国有林：高野町）



生息状況調査  
（加賀：六万山国有林：白山市）

### 地域管理経営計画の主な内容（共通）

#### 3 林産物の供給

- (1) 木材の安定的な取引関係の確立
- (2) その他必要な事項

### 3 林産物の供給

#### (1) 木材の安定的な取引関係の確立（木材の供給）

- 列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた間伐を推進



列状間伐  
(加古川：由良国有林：洲本市)



プロセッサによる造材  
(紀北：高野山国有林：高野町)



フォワーダによる運材  
(加古川：妙高国有林：丹波市)

#### (2) その他必要な事項

(木の文化を支える森づくり)

- 歴史的木造建造物の維持・修繕に必要な資材を供給するため、「檜皮採取対象林」、  
「文化財継承林」を設定



文化財継承林【クスノキ】  
(瀬戸内：鍛冶屋山国有林：福山市)

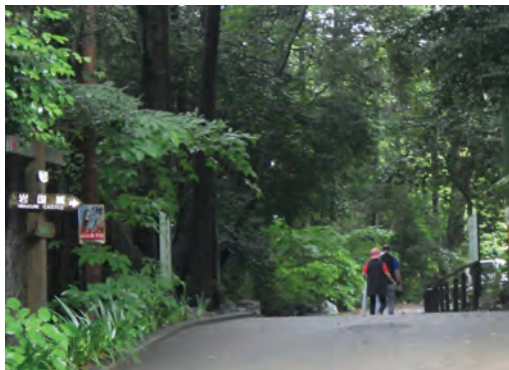
## 地域管理経営計画の主な内容（共通）

### 4 国有林野の活用

- (1) 国有林野の活用の推進方針
- (2) 国有林野の活用の具体的手法
- (3) その他必要な事項

## (1) 国有林野の活用の推進方針（公衆の保健のための活用の推進）

- 自然景観が優れ、森林浴や自然観察への利用が期待される森林を「レクリエーションの森」に設定
- 魅力的な景観を有するなど、観光資源としての活用が期待される箇所を「日本美しの森 お薦め国有林」として情報発信、環境整備の実施



岩国自然休養林  
（岩徳：城山国有林：岩国市）



用倉山野外スポーツ地域  
（瀬戸内：用倉山国有林：三原市）

## 地域管理経営計画の主な内容（共通）

### 5 国民参加による森林の整備

- (1) 国民参加の森林<sup>もり</sup>
- (2) 分収林
- (3) その他必要な事項

## 5 国民参加による森林の整備

### (1) 国民参加の森林<sup>もり</sup>

- ボランティア、NPO等が行う森林整備活動を支援するため、協定によりフィールドを提供  
「ふれあいの森」、「社会貢献の森」、「多様な活動の森」など

### (2) 分収林

- 企業の社会貢献活動の要請に応え、分収林制度を活用したフィールドを提供  
「法人の森林<sup>もり</sup>」

「法人の森林（ニッセイ社の森）」における活動の様子 →  
(加古川：朝光山国有林：加東市)



### (3) 森林環境教育

- 森林を利用した体験・学習活動を支援するため、協定により森林環境教育のフィールドを提供  
「遊々の森」

「遊々の森（生き生き学びの森）」における活動の様子 →  
(伊賀：焼尾国有林：伊賀市)



## 地域管理経営計画の主な内容（共通）

### 6 その他国有林野の管理経営

- (1) 林業技術の開発、指導及び普及
- (2) 地域の振興
- (3) 国有林野事業への理解と支援に向けた多様な情報受発信

## 6 その他国有林野の管理経営

### (1) 林業技術の開発、指導及び普及

- 技術開発目標に基づき、技術開発を計画的に推進
  - ① 低コスト化に向けた造林・保育・生産技術の確立
  - ② 公益的機能の高度発揮を図るための森林施業、保全技術の確立
  - ③ 効率的な森林管理、健全な森林育成技術の確立
- 開発・改良した林業技術を現地検討会等を通じて地域林業関係者等へ普及・定着
- 研究機関等が行う林業技術の開発や林業機械の導入試験等へフィールドを提供



平成2年度森林・林業交流発表会の様子  
(近畿中国森林管理局主催)



森林総合研究所関西支所との連携協力協定による民有林関係者を対象とした令和2年度検討会の様子

## ① 加賀森林計画区の地域管理経営計画について (石川森林管理署)

### 国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、石川県南部の6市1町となっています。
- 国有林は33,901haであり、森林面積の25%を占めています。
- 南東部の加越山地に大きな団地が存在するほか、大日山地に比較的大きな団地があり、西部の海岸付近には小団地の国有林が点在しています。

### 国有林野の特徴

- 人工林率は7%と少なく、天然林が大部分を占めています。
- 生物多様性に富み、優れた自然景観を有することから、国有林野の68%が「白山国立公園」等の自然公園や「白山ユネスコエコパーク」に指定・登録されています。

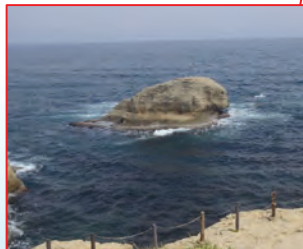


加賀海岸国有林：加賀市

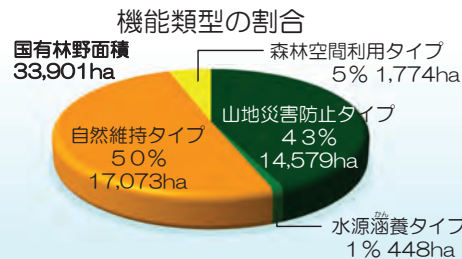


令和3年3月26日付で重要文化的景観に選定されました

浜山国有林：加賀市



国有林に編入された通称猫岩



計画のポイント①「貴重な森林生態系の保全」

○ 国有林野内の森林生態系や希少な野生生物等を、将来にわたって保護・管理していくために、「白山森林生態系保護地域」や「釈迦ヶ岳ブナ・ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林」等5か所の保護林を設定しています。

名称	面積	特徴	国有林名(市町村)
白山森林生態系保護地域	7,049.24ha	白山周辺に存在する国有林の中で、この地域を代表する原生的な天然林の保存	蛇谷外2(白山市)
犀川源流生物群集保護林	1,793.53ha	自然環境がよく保存された森林における生物の遺伝資源の保存	犀川(金沢市)
千丈平生物群集保護林	856.88ha	高標高地のブナを主体とした大群落の保存	千丈ヶ峰外1(白山市)
釈迦ヶ岳ブナ・ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	29.81ha	ブナ、ミズナラの天然分布を保護し、林分の遺伝資源の保存	釈迦ヶ岳(白山市)
嵐谷天然スギ希少個体群保護林	10.58ha	天然スギ(白山スギ)の保護	嵐谷(白山市)

犀川源流生物群集保護林



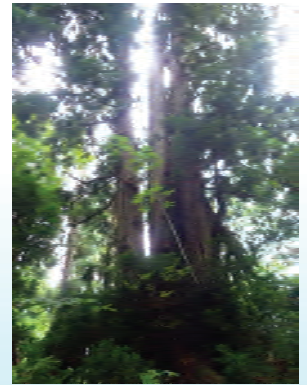
千丈平生物群集保護林



釈迦ヶ岳ブナ・ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林



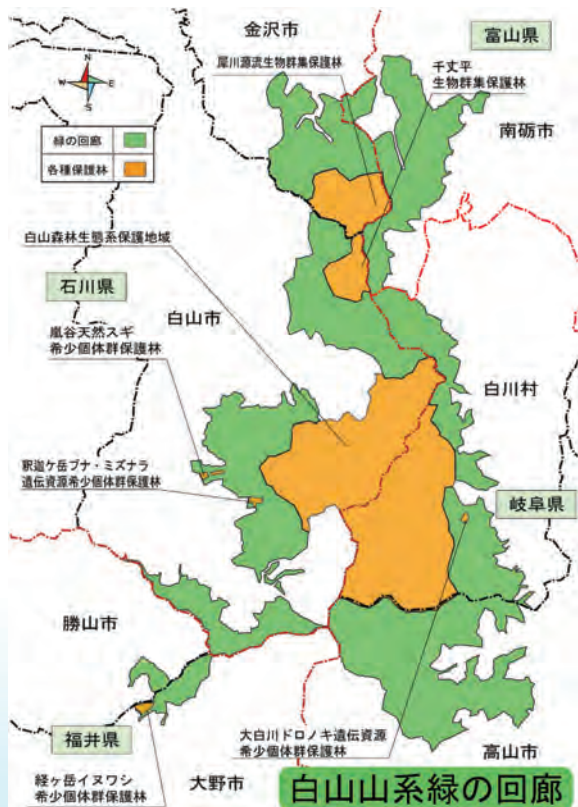
嵐谷天然スギ希少個体群保護林



白山森林生態系保護地域



○ 保護林の周囲にも良好な天然林が多く残されており、これらの森林を野生動植物の生育・生息環境や個体群それぞれの相互交流の場として保全していくため、「緑の回廊」に設定しており、林内巡視や定期的なモニタリング調査などを行い、適切に管理します。



三方岩岳から緑の回廊を望む



稜線から右側は岐阜県(蛇谷国有林)保護林周辺の天然林群



(蛇谷国有林: 緑の回廊)



### 計画のポイント② 「松くい虫等の被害対策」

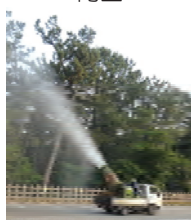
○ 本計画区では、日本海沿岸部に所在する国有林野を中心に松くい虫による被害が拡大傾向にあります。防除の実施に当たっては自然環境の保全に十分留意するとともに、地元自治体等の関係者との連携により、被害のまん延防止対策の実施に努めます。

病害虫の駆除薬剤の散布



(安宅林国有林：小松市)

同左



(同左)

車両では届かない区域を散布



(加賀海岸国有林：加賀市)

	小松市	加賀市
H30被害面積 (ha)	—	3.18
R1被害面積 (ha)	0.25	14.81
R2被害面積 (ha)	0.28	21.15

※国有林野の所在市町村別の松くい虫被害の推移

### 計画のポイント③ 「森林環境教育の推進」

○ 国有林野の豊かな森林環境を子どもたちに提供するため、学校等多様な主体と連携しつつ、地域の状況や要請に応じた森林環境教育に取り組みます。

#### 遊々の森「安宅勸進帳の森」

職員による森林環境教育の様子



小松市立安宅小学校の児童による地掻き作業



遊々の森名称：安宅勸進帳の森 協定相手方：小松市立安宅小学校 面積：19,35ha (安宅林国有林：小松市)

### 次期計画における主要事業量

区分	次期計画	現行計画	備考
伐採総量	主伐 (14ha) 800m <sup>3</sup>	—	択伐を行います。
	間伐 (155ha) 13,187m <sup>3</sup>	(251ha) 18,376m <sup>3</sup>	立木が混み合ってきた林分で間伐を実施します。
更新総量	人工造林 0.80ha	4.00ha	松くい虫被害箇所でクロマツの植栽を行います。
	天然更新 20.47ha	—	雪害等による無立木地で、自然散布種子により樹木を育成します。
保育総量	下刈 2.98ha	26.27ha	苗木の成長の妨げとなっている雑草木の刈り払いを行います。
	除伐 9.65ha	49.19ha	造林地に繁茂している雑木等の刈り払いを行います。
林道事業	開設 —	—	次期計画での伐採実施に必要な林業専用道を整備します。
	改良 20m	20m	大雨等により被害のあった林道等を修繕します。
治山事業	保全施設 7箇所	12箇所	大雨等により崩壊した箇所等で復旧工事を行います。
	保安林の整備 29.60ha	46.73ha	保安林を健全な状態に保つため、立木本数の調整を行います。

#### 択伐予定地



(山伏山国有林：白山市)

#### ツキノワグマによる剥皮被害



(山伏山国有林：白山市)

## ②加古川森林計画区の地域管理経営計画について（兵庫森林管理署）

### 国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、兵庫県南東部の21市4町となっています。
- 国有林は5,135haであり、森林面積の3%を占めています。
- 南東部の都市近郊から丹波山地にかけ散在するほか、淡路島南部にも小さな団地が点在しています。

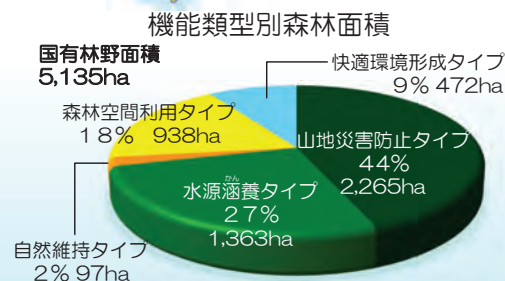
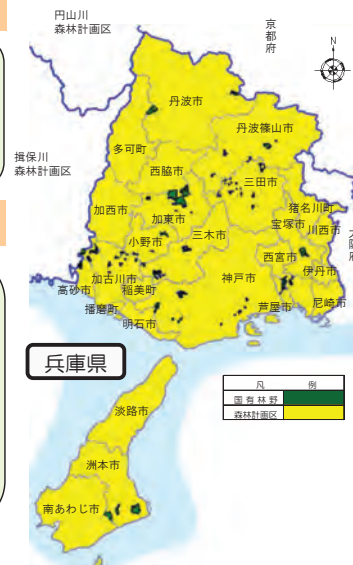
### 国有林野の特徴

- 森林面積のうち天然林が64%を占めており、六甲山地及び諭鶴羽山地の一部では保護林を設定し、希少種の保護・保全を図っています。
- 都市近郊に所在する国有林野は、都市住民の保健休養の場としても重要な役割を果たしているとともに、六甲山地に所在する摩耶山、剣谷国有林と、淡路島に所在する由良国有林は「瀬戸内海国立公園」に指定され、優れた森林景観など豊富な観光資源に恵まれていることから、ハイキングなど森林を利用したレクリエーションの場として多くの人に利用されています。

レクリエーションの森・三木山野外スポーツ地域



（三木ホースランドパーク：三木山国有林：三木市）



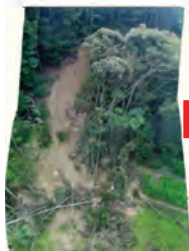
35

## 加古川森林計画区

### 計画のポイント①「治山事業」

- 治山事業は、「森林整備保全事業計画」に基づき、民有林治山事業と連携し、自然環境の保全に配慮した計画的な実施に努めます。
- 本計画区では、近年発生した豪雨災害により荒廃した山地について、山腹斜面の安定化を図る山腹工、荒廃溪流への治山ダムの設置などを重点的に実施し、地域の安全・安心の確保に努めます。

豪雨により被災



近江北山国有林（神戸市）

山腹工等による復旧状況



近江北山国有林（神戸市）

基岩の風化侵食が進行



城山国有林（芦屋市）

落石対策を主目的とした山腹工



城山国有林（芦屋市）

保全対象



落石が発生すれば被害は甚大であり、落石対策を主目的とした山腹工を施工

### 治山事業におけるICT活用の取組について

城山山腹工事を遠隔臨場する様子

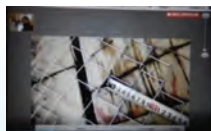


神戸治山事業所（神戸市）

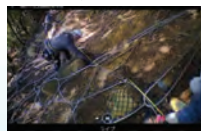
品質確認



材料検査

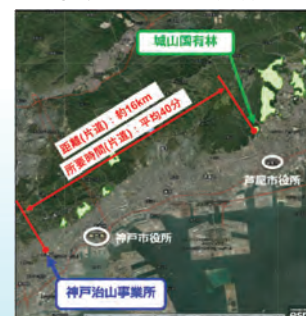


出来形確認



※遠隔臨場（えんかくりんじょう）とは、工事現場などにおいて、監督職員と受注者が、ウェアラブルカメラなどによる映像と音声の双方向通信を使用して、施工途中の段階確認や材料検査、立会などを行うことを言います。

事業地との位置関係



36

計画のポイント② 「国有林野の活用に関する事項」

- 公益的機能の発揮等との調整を図りつつ、地元自治体との情報交換を十分に行い、地域振興や住民福祉の向上に資する公共用事業用地等として、貸付け又は売払い等により国有林野の活用に努めます。

国指定 史跡名勝天然記念物 「八上城跡」



史跡城郭遺構及び眺望敷として丹波篠山市へ使用許可した高城山国有林（丹波篠山市）

ひょうご小野産業団地



産業団地事業用地として兵庫県へ売払いした南山国有林の一部

計画のポイント③ 「国民参加の森林に関する事項」

- ボランティア、NPO、企業等による自主的な森林づくり活動を支援するため、協定を締結して森林づくりのフィールドを提供する「ふれあいの森」を設定しています。

密生した竹



ふれあいの森名称：蓮花寺山ふれあいの森

子ども達が主役となって伐採します



協定相手方：ボランティアグループ「未来の家」

小さな子ども達も力を合わせて運びます



面積：5.17ha 蓮花寺山国有林（三木市）

- 社会貢献活動としての森林づくりに自ら参加・協力したいという国民や企業等の要請に応えるため、「法人の森林」等の設定を行い、分収林制度を活用した社会・環境貢献活動としての森林整備の場を提供します。

国有林名（市町村）	面積	相手方	設定年度
高城山（丹波篠山市）	1.42ha	公益財団法人 ニッセイ緑の財団	平成5年度
高城山（丹波篠山市）	2.62ha	公益財団法人 ニッセイ緑の財団	平成5年度
由良（洲本市）（2カ所）	2.74ha	公表を希望しない	平成5年度
朝光山（加東市）	1.75ha	公益財団法人 ニッセイ緑の財団	平成11年度
朝光山（加東市）	0.89ha	公益財団法人 ニッセイ緑の財団	平成13年度
北山（西宮市）	1.14ha	株式会社協和エクシオ	平成16年度
加茂山（三田市）	0.90ha	公表を希望しない	平成20年度

職員による枝打ち作業の説明の様子



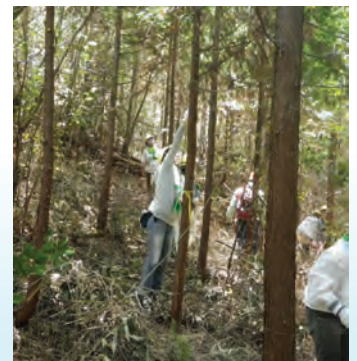
朝光山国有林（加東市）

参加者による枝打ち作業の説明の様子



朝光山国有林（加東市）

同左



朝光山国有林（加東市）

次期計画における主要事業量

区 分		次期計画	現行計画	備 考
伐採総量	主 伐	(19ha) 5,912m <sup>3</sup>	(30ha) 7,618m <sup>3</sup>	主伐を行います。
	間 伐	(519ha) 57,817m <sup>3</sup>	(369ha) 32,339m <sup>3</sup>	立木が混み合ってきた林分で間伐を実施します。
更新総量	人工造林	24.30ha	23.87ha	主伐の跡地にスギ・ヒノキの植栽を行います。
	天然更新	—	—	
保育総量	下 刈	72.90ha	62.67ha	苗木の成長の妨げとなっている雑草木の刈り払いを行います。
	除 伐	9.53ha	7.40ha	造林地に繁茂している雑木等の刈り払いを行います。
林道事業	開 設	—	2,300 m	次期計画での伐採実施に必要となる林業専用道を整備します。
	改 良	—	—	
治山事業	保全施設	8箇所	11箇所	大雨等により崩壊した箇所等で復旧工事を行います。
	保安林の整備	19.54ha	13.11ha	保安林を健全な状態に保つため、立木本数の調整を行います。

主伐予定地



(由良国有林：洲本市)

間伐予定地

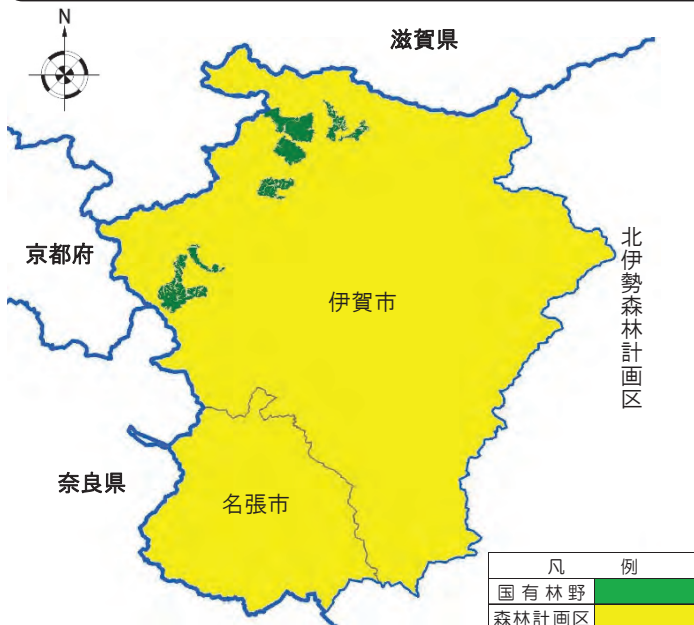


(松尾山国有林：丹波篠山市)

③ 伊賀森林計画区の地域管理経営計画について（三重森林管理署）

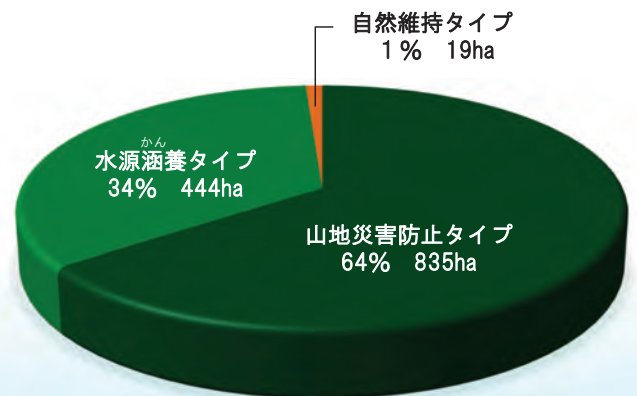
国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、三重県北西部の2市となっています。
- 国有林野は1,298haであり、森林面積の3%を占めています。
- 国有林野のすべてが伊賀市北西部に位置し、滋賀県境から京都府境にかけて数10～300haの団地が点在しています。



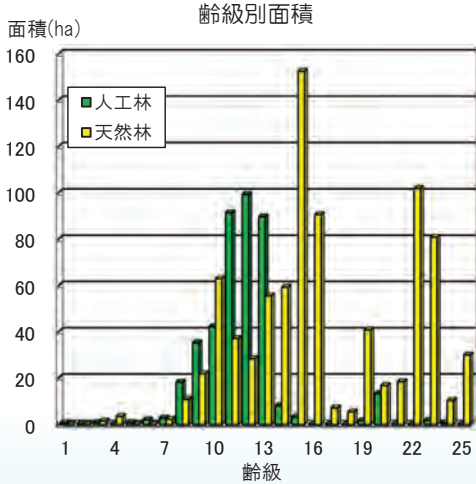
機能類型別面積割合

国有林野面積：1,298ha



国有林野の特徴

- 国有林野の67%を天然林が占めており、天然力の活用により多様な樹種から構成される森林へ誘導しつつ、公益的機能の発揮を図っています。
- 国有林野が所在する伊賀・上野盆地は、400万年前は古琵琶湖の底であったため、軟弱な凝灰岩層と粘土質を多く含む土壌となっています。
- 国有林野の大部分が集落、農耕地に隣接しており、土砂の流出・崩壊の防備を図るため、山地災害防止機能を重視した管理を行っています。

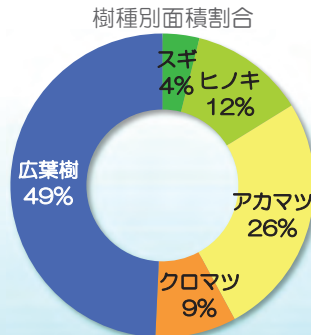


※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1 齢級、6～10年生を2 齢級、・・・と続きます。

農耕地・ため池に隣接する焼尾国有林



焼尾国有林 (伊賀市)



土砂の流出を防ぐため設置した堰堤

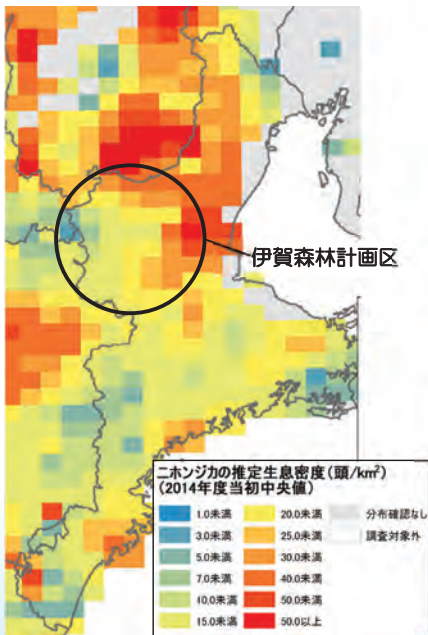


入丸国有林 (伊賀市)

計画のポイント①「ニホンジカの被害対策」

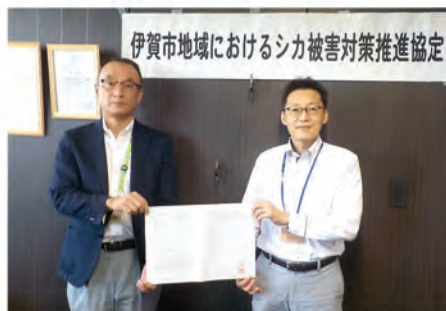
本計画区はニホンジカの生息密度が比較的高いことから、国有林のほぼ全域を「鳥獣害防止森林区域」に設定しているとともに、伊賀市鳥獣被害対策協議会と三重森林管理署との間で「伊賀地域におけるシカ被害対策推進協定」を締結し、関係機関・団体と連携してシカのわな捕獲に取り組んでいます。

ニホンジカの推定生息密度図



環境省報道発表資料より (H27.10.9環境省HP公表)

協定締結の様子



伊賀市鳥獣対策協議会 (伊賀市)

センサーカメラで撮影したシカの群れ



青岳国有林 (伊賀市)

罠いわなにより捕獲したニホンジカ



入丸国有林 (伊賀市)

三重森林管理署における捕獲実績(全県データ)

年度	捕獲頭数
平成29年度	90頭
平成30年度	86頭
令和元年度	142頭
令和2年度	166頭
令和3年度	181頭

2倍

令和3年度は12月末現在の実績です。

計画のポイント②「地域との協働による豊かな森林づくり」

豊かな自然環境を地域と協力して保全していくため、自治体、企業、学校等多様な主体との連携に取り組んでいきます。

種類	名称	面積 (ha)	国有林 (市町村)	活動内容
遊々の森	生き生き学びの森	5.02	焼尾 (伊賀市)	森林教室、自然観察等
社会貢献の森	伊賀マツタケ十字軍	25.34	焼尾 (伊賀市)	森林整備、アカマツ植樹等
社会貢献の森	ジェイテクト伊賀試験場自然共生の森	25.40	青岳 (伊賀市)	森林整備、植樹、歩道整備等
多様な活動の森	陶芸の森	5.50	入丸 (伊賀市)	歩道整備、清掃活動等

小学生・保護者を対象として国有林職員が行った自然観察会



生き生き学びの森 焼尾国有林 (伊賀市)

企業による森林整備・植樹イベント



ジェイテクト伊賀試験場自然共生の森 青岳国有林 (伊賀市)

計画のポイント③「地域振興等への寄与」

国有林野事業の重要な使命の一つとして、国有林野の利活用等を通じて、地域振興等への寄与に努めます。本計画区では、国指定の伝統的工芸品「伊賀焼」の原料となる粘土を採掘する目的で、国有林野約7haを貸付しており、地域の伝統産業を支えています。

粘土採掘地として利用されている国有林野



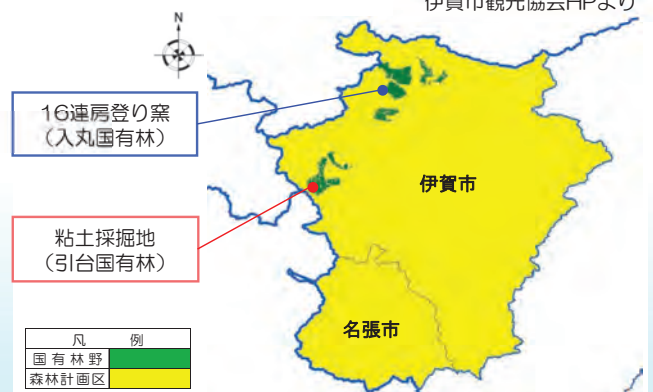
粘土採掘のための貸付地 引台国有林 (伊賀市)

国指定伝統工芸品 伊賀焼



伊賀市観光協会HPより

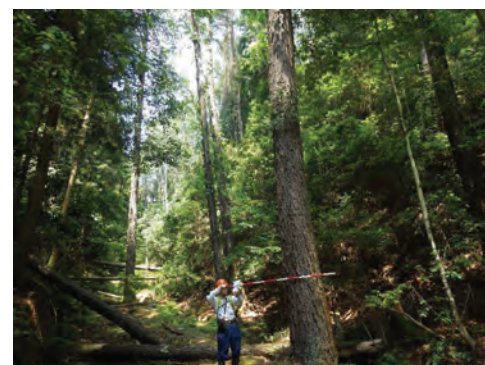
国指定登録有形文化財長谷園16連房登り窯



次期計画における主要事業量

区分	次期計画	現行計画	備考
伐採総量	主伐 (6ha) 384m <sup>3</sup>	—	伐期を迎えた主伐対象林分で主伐を実施します。
	間伐 (64ha) 6,646m <sup>3</sup>	(75ha) 6,355m <sup>3</sup>	立木が混み合ってきた林分で間伐を実施します。
更新総量	人工造林 —	—	
	天然更新 6.35ha	—	伐採箇所で天然力を活用した更新を行います。
保育総量	下刈 —	—	
	除伐 1.01ha	2.53ha	造林地に繁茂している雑木等の刈り取りを行います。
林道事業	開設 —	—	
	改良 —	300m	
治山事業	保全施設 3箇所	—	山腹崩壊箇所などで復旧工事を行います。
	保安林の整備 —	—	

主伐の予定箇所



入丸国有林（伊賀市）

間伐の予定箇所

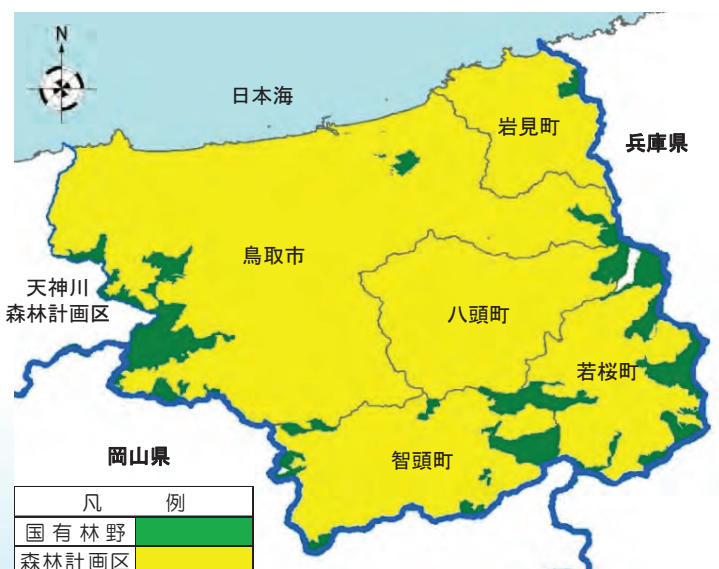


入丸国有林（伊賀市）

④ 千代川森林計画区の地域管理経営計画について（鳥取森林管理署）

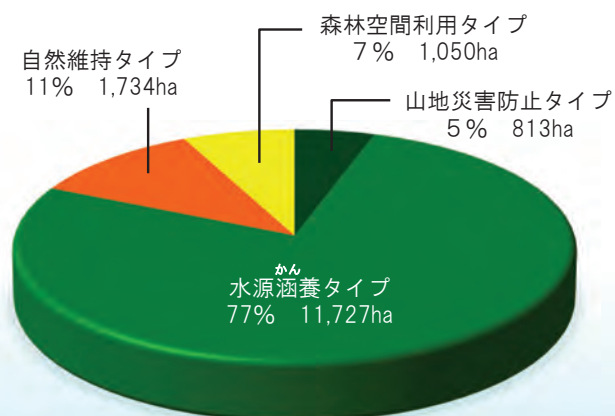
国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、鳥取県東部の1市4町となっています。
- 国有林は15,324haであり、森林面積の13%を占めています。
- 兵庫、岡山県境の東中国山地脊梁部に1,000haを超える団地が複数所在するほか、西部には2,000haの団地が所在しています。



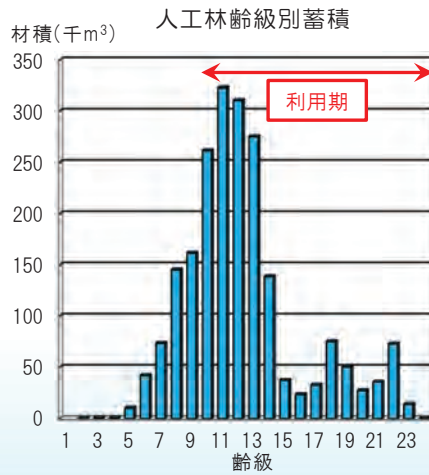
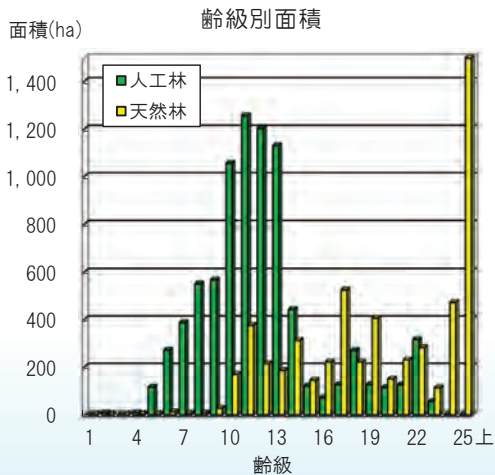
機能類型別森林面積

国有林野面：15,324ha



国有林野の特徴

- 人工林面積は2,569haと国有林面積の57%を占めます。また、人工林の森林蓄積のうち約8割が10齢級以上と利用期を迎えていることから、若桜町の国有林において、森林共同施業団地を設定しています。
- 兵庫、岡山県境の稜線部には、ブナ林やスギ天然林など貴重な植物群落が複数存在しており、それらに生息する希少な野生生物の森林生態系を保全するため、東中国山地緑の回廊を設定しています。
- 兵庫県境の氷ノ山、扇ノ山、鳥取市街近郊の扇ノ仙森林スポーツ林や鳥取自然休養林など、美しい森林景観や多様な動植物にも恵まれており森林とのふれあいの場として多くの方に利用されています。



沖ノ山国有林 (智頭町)

※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1 齢級、6～10年生を2 齢級、・・・と続きます。

計画のポイント①「民有林と連携した施業の効率化」

民有林と国有林が隣接している区域において「森林共同施業団地」を設定し、民有林所有者と連携して路網の整備、土場の共同利用や民有林材との協調出荷等に取り組みます。

おふねやま  
小舟山地域森林共同施業団地

協定締結者			連携して行う取組
民有林	382ha	若桜町、鳥取水源林整備事務所、八頭中央森林組合	間伐等の森林整備、路網整備、路網、土場の共同利用
国有林	1,097ha	鳥取森林管理署	

森林共同施業団地意見交換会の様子



鳥取森林管理署

林業専用道開設作業の様子

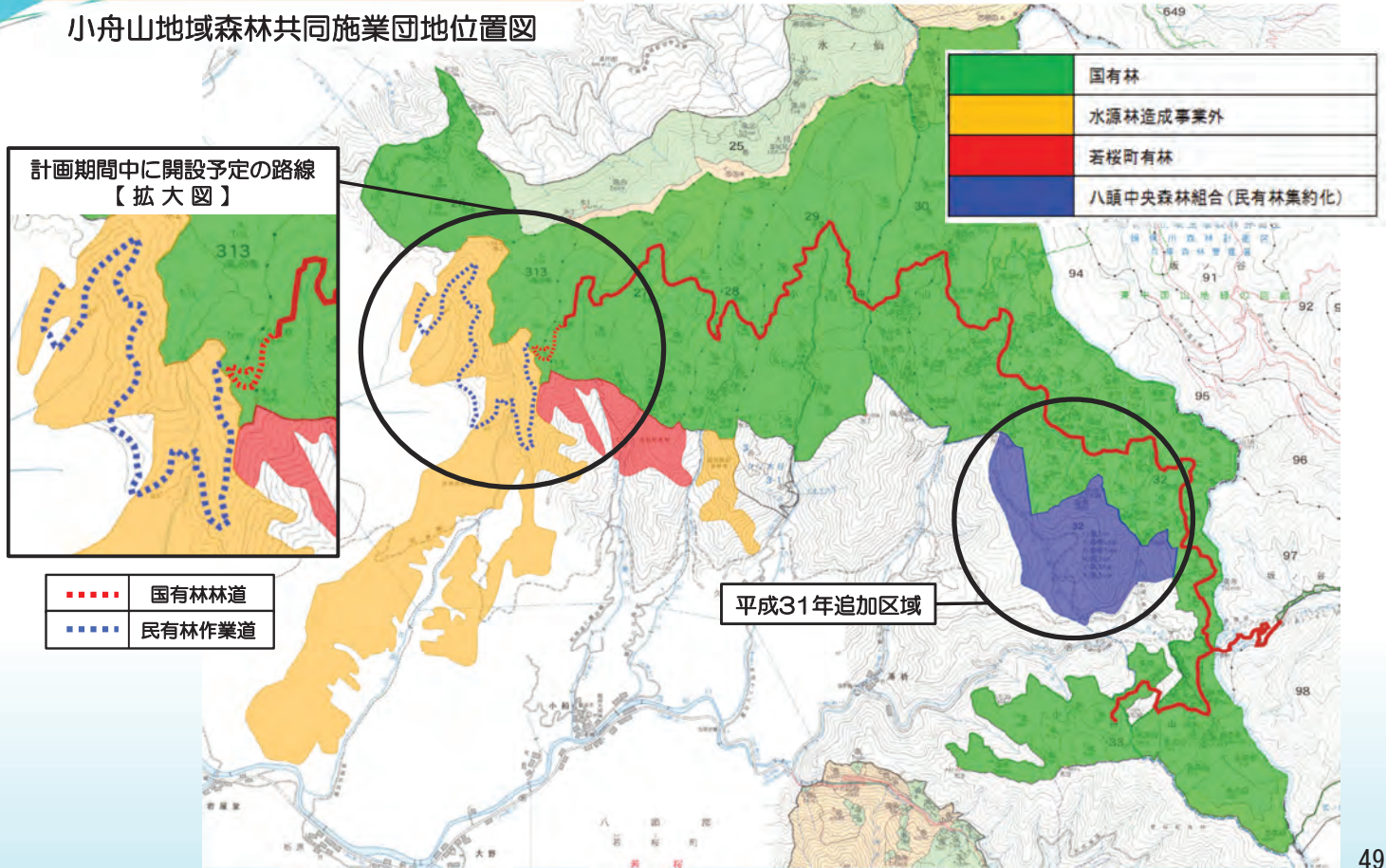


小舟山林業専用道 (若桜町)



計画のポイント①「私有林と連携した施業の効率化」

小舟山地域森林共同施業団地位置図



計画のポイント②「貴重な森林生態系の保全」

原生的な天然林、地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林等を保護林として設定し、モニタリングを行いながら厳正に保護管理しています。

本計画区では、スギ、ブナ、トチノキ等の天然林を適切に保護管理するため、4箇所の保護林を設定しています。

保護林区分名称	面積 (ha)	国有林名 (市町村)	特徴
三国山生物群集保護林 (保存地区)	20.20 [319.03]	山王谷 (鳥取市)	三国山における代表的なブナを主体とする高齢天然生林の保護
沖ノ山スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林	88.16	沖ノ山 (智頭町)	スギ、ブナ等の天然分布を保護し、林分の遺伝資源を保存
山王谷スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林	114.72	山王谷 (鳥取市)	スギ、ブナ等の天然分布を保護し、林分の遺伝資源を保存
扇ノ山ブナ希少個体群保護林	54.91	扇ノ山、沢川 (八頭町・若桜町)	中国山系における代表的なブナ天然生林の保護

沖ノ山スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林



沖ノ山国有林 (智頭町)

三国山生物群集保護林 (保存地区)



山王谷国有林 (鳥取市)

計画のポイント②「貴重な森林生態系の保全」

保護林の周囲にも良好な点天然林が多く残されており、これらの森林を野生生物の生育・生息環境や個体群それぞれの相互交流の場として保全していくため、「緑の回廊」を設定しています。  
林内巡視や定期的なモニタリング調査などを行い、適切に管理しています。

名称	国有林面積 (ha)	民有林面積 (ha)	特徴	主な山岳
東中国山地緑の回廊	全体面積 6,186 うち本計画区 3,544	873	兵庫、鳥取、岡山の3県にまたがって設定。 西限付近のブナ林やスギ天然林が存在。 他の回廊に比べ人工林が多く、区域内に民有林を含む。 イヌワシやツキノワグマの地域個体群が存在。	三室山、 氷ノ山、 陣鉢山、 扇ノ山

東中国山地緑の回廊 尾根筋のブナ林



扇ノ仙国有林 (八頭町)



東中国山地緑の回廊 針広混交林



沢川国有林 (若桜町)



計画のポイント③「公衆の保健のための活用」

国民の保健・文化・教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林野を「レクリエーションの森」として、広く国民に開かれた利用に供します。

扇ノ仙森林スポーツ林 設営された空中テント



扇ノ仙国有林 (八頭町)

扇ノ仙森林スポーツ林 ツリークライミングの様子



扇ノ仙国有林 (八頭町)

扇ノ仙森林スポーツ林 野鳥愛好家の方々



扇ノ仙国有林 (八頭町)

年間利用者2万人以上となる氷ノ山スキー場



氷ノ山国有林 (若桜町)

次期計画における主要事業量

区分	次期計画	現行計画	備考
伐採総量	主伐 (203ha) 48,166m <sup>3</sup>	(216ha) 47,213m <sup>3</sup>	現行計画と同程度の伐採を行います。
	間伐 (2,006ha) 217,629m <sup>3</sup>	(2,262ha) 226,824m <sup>3</sup>	立木が混み合ってきた林分で間伐を実施します。
更新総量	人工造林 177.19ha	179.63ha	主伐実施箇所ですぎ、ヒノキ等の植栽を行います。
	天然更新 —	—	
保育総量	下刈 439.12ha	454.67ha	苗木の成長の妨げとなっている雑草木の刈り払いを行います。
	除伐 4.75ha	—	造林地に繁茂している雑木等の刈り取りを行います。
林道事業	開設 2,720m	5,800m	次期計画での伐採実施に必要な林道を整備します。
	改良 1,630m	—	豪雨等で被害のあった箇所を修繕します。
治山事業	保全施設 8箇所	13箇所	豪雨等で被災した箇所での復旧工事を行います。
	保安林の整備 —	12.04ha	

主伐の予定箇所



小舟山国有林（若桜町）

間伐の予定箇所



檜波国有林（智頭町）53

⑤ 紀北森林計画区の地域管理経営計画について（和歌山森林管理署）

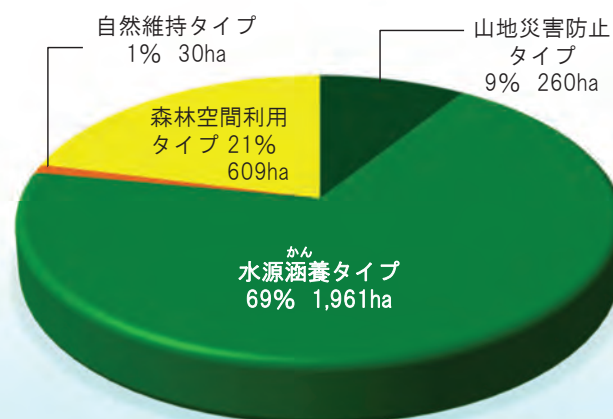
国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、和歌山県北部の5市4町となっています。
- 国有林は2,862haであり、森林面積の4%を占めています。
- 計画区東部の高野町に国有林の約8割にあたる2,200haを超える団地があるほか、大阪府との府県境の和泉山脈に小面積の団地が点在しています。



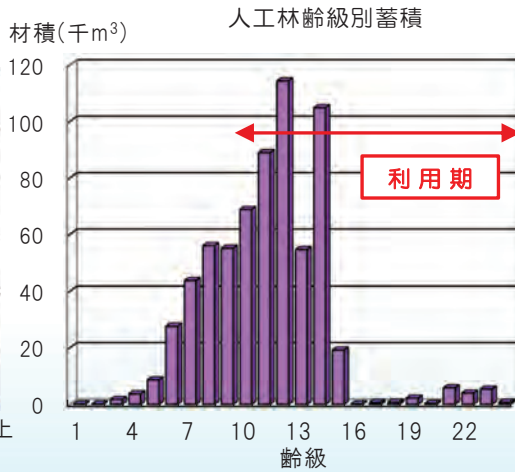
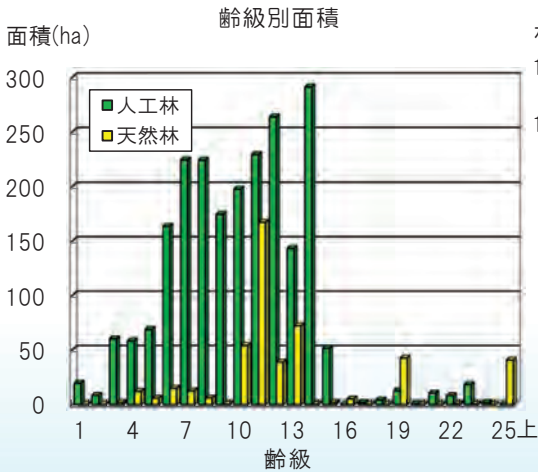
機能別森林面積

国有林野面積2,862ha



国有林野の特徴

- 国有林野の人工林率は82%で、この森林蓄積の約7割が利用期を迎えており、人工林資源に恵まれています。
- ニホンジカの生息密度が高く、植栽木や下層植生への食害が発生しているため、植栽木の保護や捕獲等の被害対策が課題となっています。
- 世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の周辺の国有林野において、文化財の修復等に必要な木材や樹皮等の供給、景観の保全などの期待に応じるよう整備することが求められています。



紅葉と壇上加藍



霊場高野山は、平安時代に弘法大師によって開創され、1200年以上の歴史があります。

様々な木造文化財が建ち並んでおり、高野山国有林(高野町)では、修復資材の供給等の期待に応えられるよう整備を行っています。

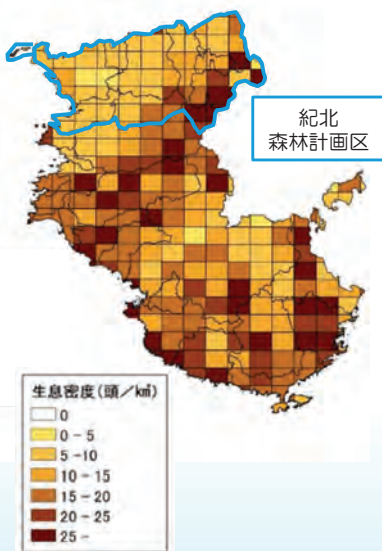
※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、・・・と続きます。

計画のポイント①「ニホンジカの被害対策」

高野山国有林は、ニホンジカの生息密度が高く、ほぼ全域を「鳥獣害防止森林区域」に指定しています。

このため、防護柵の設置等により着実な再生林を進めるとともに、地元自治体と締結している鳥獣被害対策推進協定等により地域や関係団体と連携して捕獲による被害対策に取り組みます。

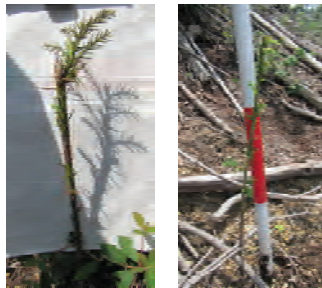
シカの推定生息密度(令和元年度)



和歌山県第二種特定鳥獣管理計画(ニホンジカ)第5期 資料編(案)より

着実な再生林

シカ食害を受けたスギ苗木



植栽箇所に設置した防護柵



捕獲による被害対策

くくり罠で捕獲したニホンジカ



和歌山森林管理署におけるニホンジカ捕獲実績

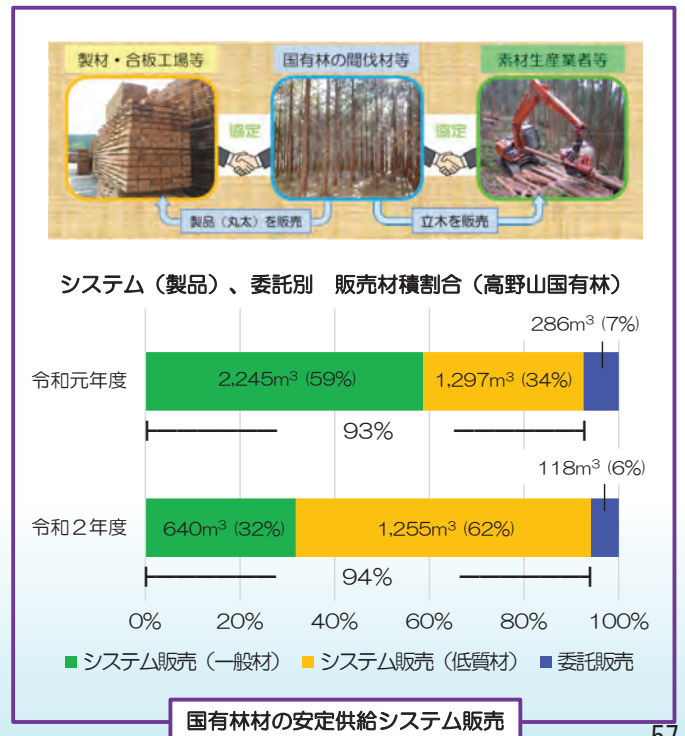
年度	捕獲頭数
令和元年度	133頭
令和2年度	126頭
令和3年度	84頭

令和3年度は12月末現在の実績です。

### 計画のポイント②「木材の安定供給」

列状間伐、路網整備、高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進します。

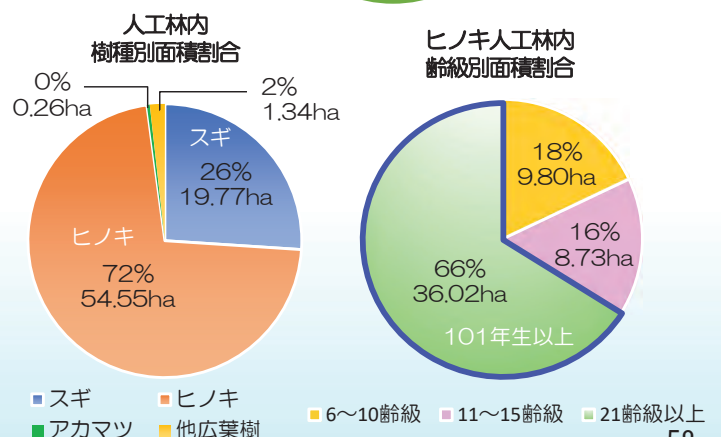
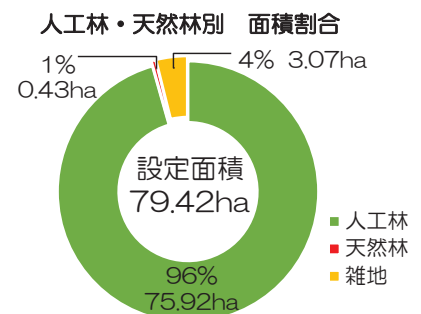
また、製品（丸太）を製材工場等の需要者に、協定を結び直接販売する「国有林材の安定供給システム販売」を推進することにより、地域における計画的かつ安定的な木材供給体制の構築に努めます。



### 計画のポイント③「世界文化遺産の保全」

世界文化遺産に登録されている霊場や参詣道の文化的景観の保全等のため、周辺の国有林野を「世界文化遺産貢献の森林」に設定し、地域の関係者との連携のもと、文化財の修復資材の供給等の役割を果たすべく、適切な整備に取り組みます。

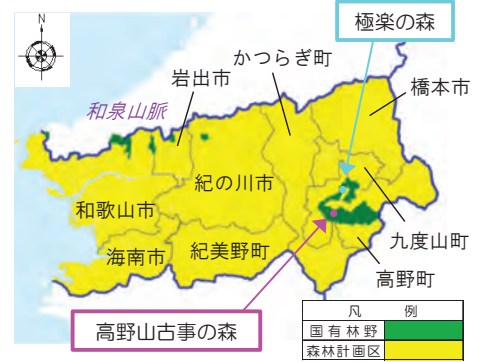
参詣道名称	国有林(市町村)	面積(ha)	設定ゾーン
高野参詣道	高野山(高野町)	79.42	<ul style="list-style-type: none"> <li>檜皮の森林ゾーン</li> <li>文化財用材の森林ゾーン</li> <li>風致の保全ゾーン</li> <li>森林と文化財の学びゾーン</li> </ul>



計画のポイント④「国民参加による<sup>もり</sup>森林づくり」

伝統的文化等の継承に貢献する<sup>もり</sup>森林づくり活動や企業による社会貢献活動等のフィールドを提供し、国民参加の<sup>もり</sup>森林づくりを推進します。

制度	名称	面積 (ha)	活動内容
木の文化を支える森 (協定)	高野山古事の森	1.51	木の文化を守るため、ヒノキ、コウヤマキ等の多様な樹種を育成。 活動内容をPRするための見学会を開催。
社会貢献の森 (協定)	極楽の森	1.03	ボランティアによる下草刈りやゴミ拾い等の整備。

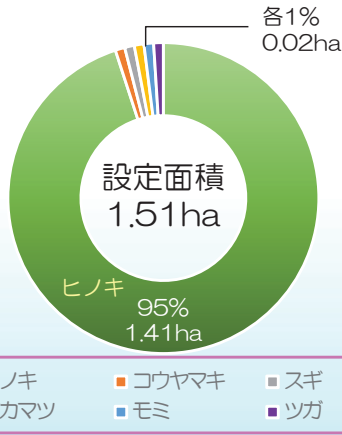


活動内容をPRするための見学会 (高野山古事の森)



高野山国有林 (高野町)

高野山古事の森 植栽樹種別面積割合



下草刈り等の整備活動 (極楽の森)



高野山国有林 (高野町) 99

次期計画における主要事業量

区分	次期計画	現行計画	備考
伐採総量	主伐 (82ha) 34,417m <sup>3</sup>	(117ha) 53,490m <sup>3</sup>	次期計画では主伐を行う分収林が少なく、全体として計画量が減少しています。
	間伐 (536ha) 70,768m <sup>3</sup>	(573ha) 64,820m <sup>3</sup>	立木が混み合ってきた林分で間伐を実施します。
更新総量	人工造林 182.04ha	135.00ha	主伐実施箇所でスギ、ヒノキ等の植栽を行います。
	天然更新 6.48ha	6.48ha	立木のない箇所で自然散布種子により樹木を育成します。
保育総量	下刈 571.24ha	405.00ha	苗木の成長の妨げとなっている雑草木の刈り払いを行います。
	除伐 29.18ha	60.35ha	造林地に繁茂している雑木等の刈り取りを行います。
林道事業	開設 —	3,930m	
	改良 90m	150m	豪雨等で被害があった箇所の修繕を行います。
治山事業	保全施設 3箇所	10箇所	豪雨等で被災した箇所で復旧工事を行います。
	保安林の整備 52.28ha	31.38ha	保安林を健全な状態に保つため、立木本数の調整を行います。

主伐予定箇所



高野山国有林 (高野町)

間伐予定箇所



高野山国有林 (高野町)

## ⑥ 岩徳森林計画区の地域管理経営計画について（山口森林管理事務所）

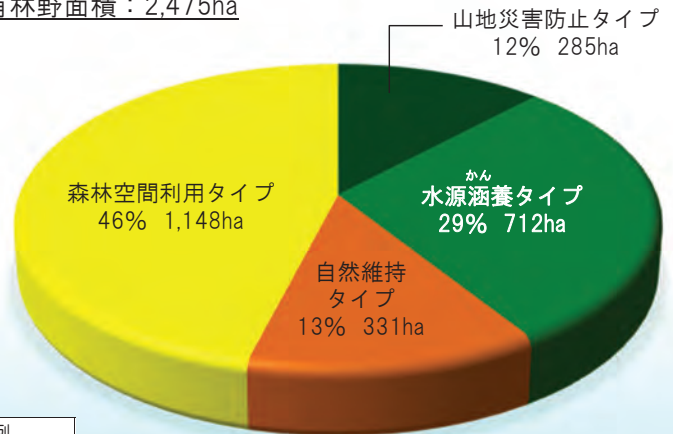
### 国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、山口県東部の5市5町となっています。
- 国有林は2,475haであり、森林面積の2%を占めています。
- 計画区東部の岩国市に国有林の約6割にあたる1,500haを超える団地があるほか、島しょ部に小面積の団地が点在しています。



### 機能類型別森林面積

国有林野面積：2,475ha



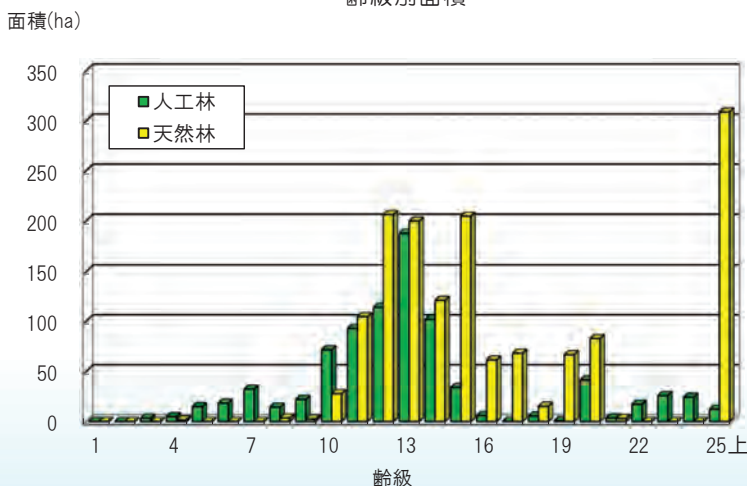
61

## 岩徳森林計画区

### 国有林野の特徴

- 森林面積のうち人工林率は36%ですが、成熟した林分が多く、<sup>ひわだ</sup>檜皮の供給も行っています。
- 広島県、島根県との県境に近い岩国市北部の国有林には、地域の天然林を代表するブナ等の群落があり、希少な個体群を保護することが重要です。
- 国有林野の46%が森林空間利用タイプとなっており、名勝「錦帯橋」周辺の国有林野等で保健休養の場として利用されています。

### 年齢別面積



※ 年齢とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1年齢、6～10年生を2年齢、・・・と続きます。

### 紅葉谷と城山国有林



秋の紅葉谷の風景です。正面及び右上に見えるのが城山国有林（岩国市）です。この道を進むと、城山国有林に接続しており、岩国城へと続いています。

62

計画のポイント①「貴重な森林生態系の保全」

地域において希少となっているブナ、天然生のスギの個体群を保護林として設定し、モニタリングを行いながら厳正に保護管理します。

名称	面積 (ha)	特徴
寂地山ブナ・スギ希少個体群保護林	76.93	山口県におけるブナ、スギの代表的群落の保護
右谷山ブナ希少個体群保護林	118.24	山口県におけるブナの代表的群落の保護

保護対象のスギ天然林



寂地山ブナ・スギ希少個体群保護林 (寂地国有林：岩国市)

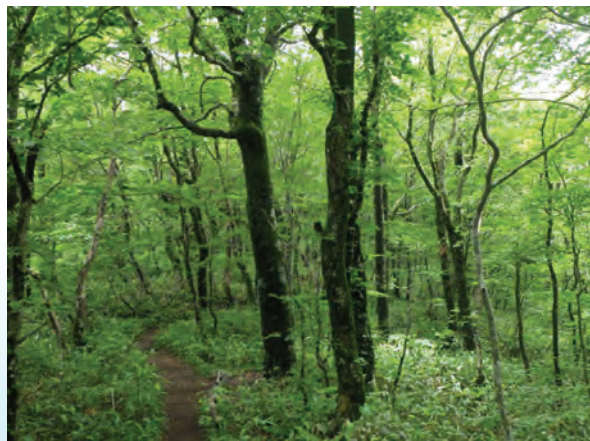
保護林の目的などを紹介している案内看板



右谷山ブナ希少個体群保護林 (右谷国有林：岩国市) 右が保護林看板。左は西中国山地国定公園の案内看板。

寂地山ブナ・スギ希少個体群保護林

歩道沿いに生育しているブナの個体群



右谷山ブナ希少個体群保護林 (右谷国有林：岩国市)



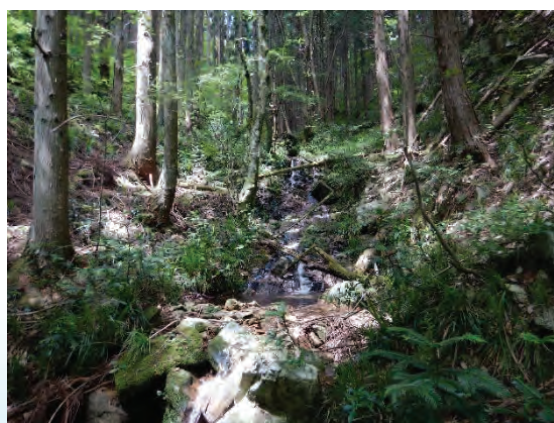
計画のポイント①「貴重な森林生態系の保全」

野生生物の生育・生息環境、移動経路等として生物多様性の保全上重要な役割を担っている溪畔部の人工林を「溪畔林」に設定し、本来の植生を回復させることにより上流から下流まで連続した森林生態系ネットワークの形成に取り組みます。

名称	面積 (ha)	設定延長 (m)	所在地
宇佐川	6.83	820	岩国市 (右谷国有林)

上流：天然林

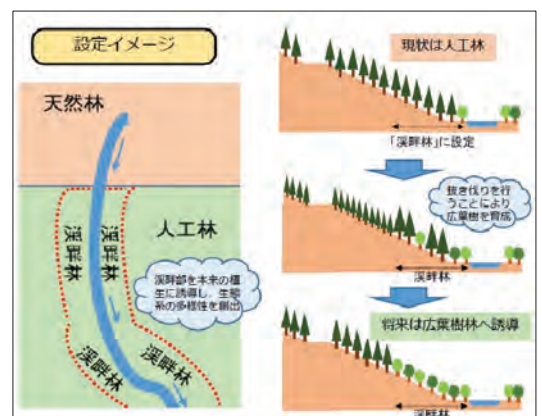
溪流周辺の溪畔林



右谷国有林 (岩国市)



溪畔林設定箇所



溪畔部の人工林 (間伐を予定)



右谷国有林 (岩国市) 64



計画のポイント② 「公衆の保健のための活用」

国民の保健・文化・教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林野を「レクリエーションの森」として、広く国民に開かれた利用に供します。

また、岩国自然休養林は、「レクリエーションの森」のうち、特に景観等の優れている森林として「日本美しい森お薦め国有林」に選定されていることから、地域の関係者と連携・協働を図りつつ、森林景観を活かした地域の観光資源の創出に寄与するよう、環境整備や情報発信に取り組みます。

種類	名称	面積 (ha)	既存施設
自然休養林	岩国自然休養林	278.11	遊歩道、園地、ロープウェイ

岩国自然休養林からの眺望（瀬戸内海方面を望む）

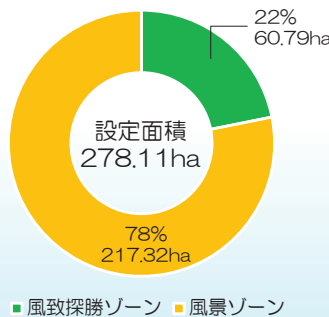


錦帯橋越しに見える岩国自然休養林



城山国有林（岩国市）

岩国自然休養林  
ゾーン別面積割合



岩国自然休養林での散策の様子



城山国有林（岩国市）

計画のポイント③ 「木の文化を支える森づくり」

世界文化遺産等に指定されている歴史的木造建造物の修復資材である檜皮の安定的供給及び技能者の養成等のため、国有林の80年生以上のヒノキ人工林の中から「檜皮採取対象林」を設定しています。

種類	国有林（市町村）	面積 (ha)	設定年度
檜皮採取対象林	城山国有林（岩国市）	41.10	平成13年度

檜皮採取後のヒノキ



城山国有林  
（岩国市）



城山国有林  
（岩国市）

試験の名称	国有林（市町村）	面積 (ha)	調査内容	調査方法
檜皮採取試験	城山国有林（岩国市）	0.09	成長量調査	檜皮採取試験木と対照木の比較



1回目

H15  
剥皮半年後



H23剥皮9年後



H24剥皮直後

2回目



H29剥皮5年後

次期計画における主要事業量

区 分		次期計画	現行計画	備 考
伐採総量	主 伐	(33ha) 6,614m <sup>3</sup>	(41ha) 7,863m <sup>3</sup>	次期計画では主伐の対象となる林分が少なく、全体として計画量が減少しています。
	間 伐	(333ha) 40,548m <sup>3</sup>	(326ha) 36,750m <sup>3</sup>	立木が混み合ってきた林分で間伐を実施します。
更新総量	人工造林	14.05ha	14.49ha	主伐実施箇所でスギ、ヒノキ等の植栽を行います。
	天然更新	22.50ha	22.58ha	立木のない箇所で自然散布種子により樹木を育成します。
保育総量	下 刈	42.15ha	37.73ha	苗木の成長の妨げとなっている雑草木の刈り払いを行います。
	除 伐	2.89ha	7.04ha	造林地に繁茂している雑木等の刈り取りを行います。
林道事業	開 設	—	720m	
	改 良	—	—	
治山事業	保全施設	12箇所	10箇所	豪雨等で被災した箇所で復旧工事を行います。
	保安林の整備	188.18ha	—	保安林を健全な状態に保つため、立木本数の調整を行います。

主伐予定箇所



高鉢山国有林 (岩国市)

間伐予定箇所



城山国有林 (岩国市)

⑦ 瀬戸内森林計画区の地域管理経営計画について (広島森林管理署)

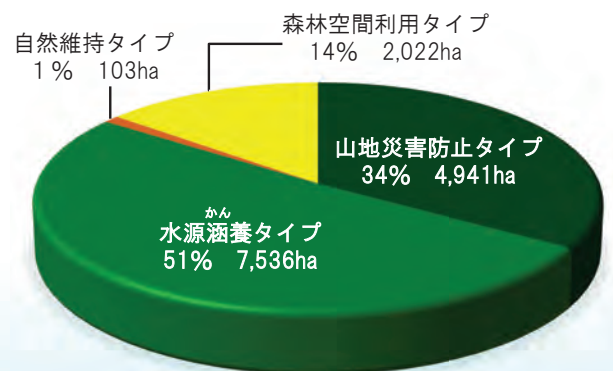
国有林野の基本データ

- 森林計画区の区域は、広島県南東部の8市2町となっています。
- 国有林野は14,664haであり、森林面積の8%を占めています。
- 主に北東部の芦田川水系上流域、中央部の沼田川中流域、南西部の黒瀬川中～下流域に団地が集中しているほか、瀬戸内海沿岸部にも比較的小規模な団地が点在しています。



機能類型別森林面積

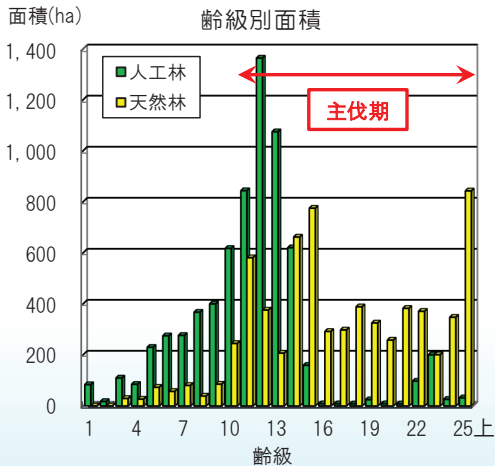
国有林野面積：14,664ha



注 このほかに、快適環境形成タイプ 63ha 0.4%が存在します。

国有林野の特徴

- 人工林面積が7,155haと国有林野面積のおおむね半数を占め、また、人工林の森林蓄積のうち約8割が主伐期に達しており、恵まれた人工林資源を有しています。
- 平成30年7月豪雨により、本計画区の中央部から西部にかけての国有林野において、山腹崩壊等の山地災害が多発しています。
- 瀬戸内海の有数の景勝地である鞆の浦<sup>とも</sup>、尾道水道の周辺に位置している国有林野や、都市部から比較的近い立地にある国有林野があり、保健休養の場として、多くの方に利用されています。



※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。



鞆の浦と後口山国有林

古くは万葉集にも詠われた風光明媚な鞆の浦です。後口山国有林(福山市)はその背景林を構成しています。鞆港周辺の市街地は重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。



尾道水道と浄土寺山国有林

尾道水道を眺望したものです。左上が浄土寺山国有林(尾道市)、右上が向島です。浄土寺山国有林内には遊歩道や展望台が整備されています。

計画のポイント①「木材の安定的な供給」

- 本計画区の恵まれた人工林資源を有効活用するため、適正な森林整備を通じ木材の安定供給に取り組みます。
- 木材の供給に当たっては、列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた効率的な森林整備を進めるとともに、自然条件・社会的条件を考慮して主伐を実施します。
- 木材の販売に当たっては、協定を締結した需要者に直接販売する「国有林材の安定供給システム販売」を推進することで、地域における計画的かつ安定的な木材供給体制の構築に努めます。

【森林作業道の作設作業】

丸太の運搬、機械の移動等で利用する森林作業道を作設します。



神子原山国有林 (福山市)

【プロセッサによる造材作業】

伐採した木の枝葉を取り除き、丸太に加工します。



笛木山国有林 (福山市)

【フォワーダによる運材作業】

森林作業道を利用して、丸太をトラック積込場所まで運搬します。



稗島山国有林 (三原市)

【トラック運搬】

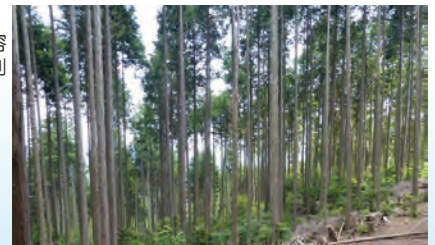
積込場所に集積された丸太を木材市場までトラック運搬します。システム販売では購入者自らが運搬します。



笛木山国有林 (福山市)

【列状間伐】

伐採する立木の選定が容易で、倒し易いように列状で伐採します。



鷹ノ巣山国有林 (東広島市)

### 計画のポイント② 「木の文化を支える森づくり」

- 国宝等の歴史的木造建造物の修復資材は、特定の樹種の大径材、高齢級ヒノキの檜皮など、民有林からの供給が期待しづらいため、国有林野内に育成・備蓄する場を設定しています。
- 「文化財継承林」は、将来の修復用材を確保する目的で、ケヤキ、クスノキ、クリの大径木を育成できる見込みの箇所に設定しています。
- 「<sup>ひわだ</sup>檜皮採取対象林」は、建造物の屋根の修復資材の供給、採取技能者の養成を目的として、80年生以上のヒノキ人工林の中から選定しています。

区分	面積	国有林(市町村)	概要
文化財継承林	5.88ha	鍛冶屋山(福山市)	118年生 クスノキ人工林
檜皮採取対象林	46.25ha	野路山(呉市)、彦山(福山市)、八坂山(三原市)、仏通寺山(三原市)	105~123年生 ヒノキ人工林

【文化財継承林】

クスノキの大径木の林分で、なかには直径が1m近いものもあります。



鍛冶屋山国有林(福山市)

【檜皮採取対象林】

檜皮を採取している様子です。後継者不足が懸念される採取技能者の養成研修の場にもなっています。



野路山国有林(呉市)

### 計画のポイント③ 「山地災害への対応」

- 平成30年7月豪雨により、呉市や三原市に所在する国有林野を中心に、山腹崩壊や溪流における崩壊土砂の流出といった山地災害が多発しています。
- これらの災害箇所では復旧工事を実施してきたところですが、次期計画期間も引き続き復旧を図るため、計画的に治山事業を実施し、災害に強い森林づくりを進めます。

現行計画期間(H29~R3)で実施された復旧工事

【溪間工】 災害発生の状況



復旧後の状況



中倉山国有林(呉市)

次期計画期間(R4~8)の復旧予定箇所

溪間工を予定



姥ヶ原山国有林(三原市)

山腹工を予定



野路山国有林(呉市)

【山腹工】 災害発生の状況



復旧後の状況



仏通寺山国有林(三原市)

治山事業の実績と予定

種別	現行計画の実績	次期計画の予定
溪間工	14箇所	6箇所
山腹工	11箇所	6箇所
計	25箇所	12箇所

次期計画における主要事業量

区 分		次期計画	現行計画	備 考
伐採総量	主 伐	(177ha) 61,596m <sup>3</sup>	(242ha) 74,588m <sup>3</sup>	次期計画では主伐を行う分収林が少なく、全体として計画量が減少しています。
	間 伐	(1,910ha) 208,156m <sup>3</sup>	(1,998ha) 176,007m <sup>3</sup>	立木が混み合ってきた林分で間伐を実施します。
更新総量	人工造林	223.11ha	248.05ha	主伐実施箇所でスギ、ヒノキ等の植栽を行います。
	天然更新	—	—	
保育総量	下 刈	792.79ha	774.03ha	苗木の成長の妨げとなっている雑草木の刈り払いを行います。
	除 伐	81.05ha	158.51ha	造林地に繁茂している雑木等の刈り取りを行います。
林道事業	開 設	2,546m	3,846m	次期計画での伐採実施に必要となる林道を整備します。
	改 良	43m	—	豪雨等で被害があった箇所の修繕を行います。
治山事業	保全施設	12箇所	6箇所	豪雨等で被災した箇所で復旧工事を行います。
	保安林の整備	51.21ha	—	保安林を健全な状態に保つため、立木本数の調整を行います。

主伐予定箇所



木頃山国有林（府中市）

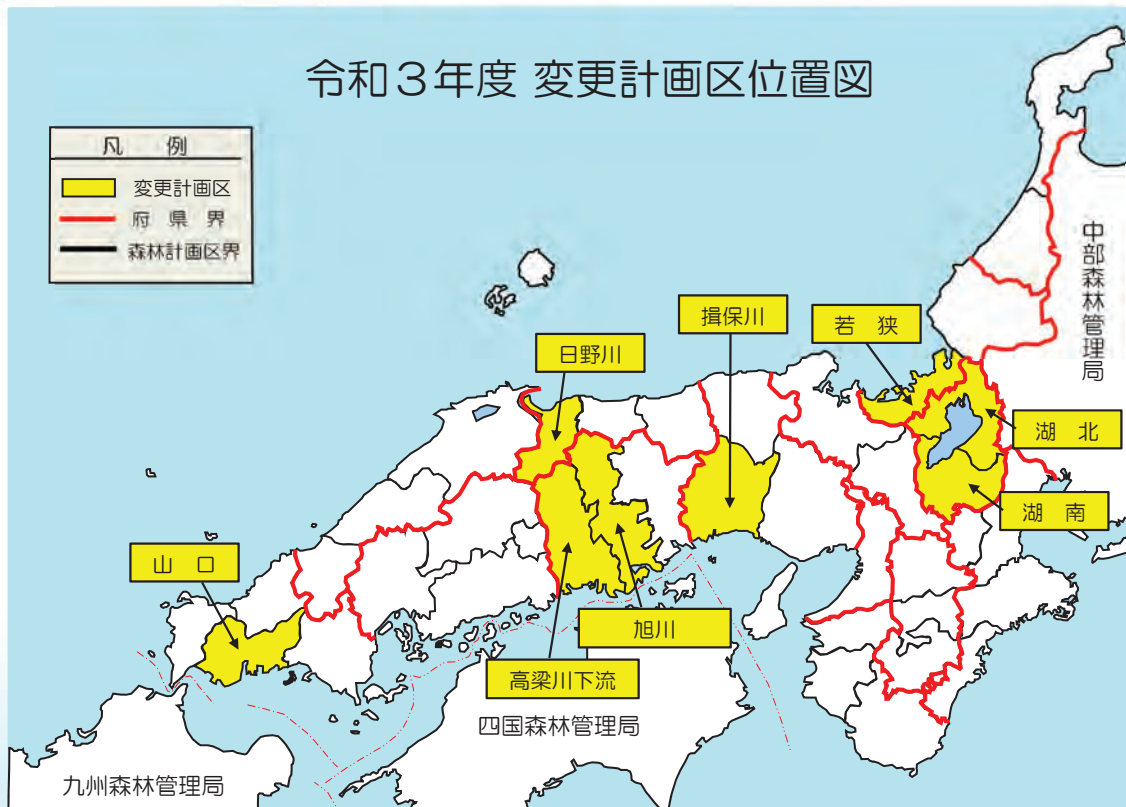
保育予定箇所



鷹ノ巣山国有林（東広島市）

今年度変更する計画（案）の概要

令和3年度 変更計画区位置図



- 1 伐採総量の変更（若狭、日野川、高梁川下流、旭川、山口）  
林分状況に応じて主伐方法（間伐から主伐へ）、伐採箇所の見直し  
主伐4,480m<sup>3</sup>増、間伐732m<sup>3</sup>増
- 2 更新総量の変更（高梁川下流、旭川、山口）  
主伐の追加に伴う更新総量の見直し  
人工造林7.64ha増、天然更新10ha増
- 3 林道に関する事項の変更（湖北、湖南、斐伊川、高梁川下流、旭川）  
林道の開設、改良が必要となったため追加  
開設1,280m（1箇所）増、改良297m（15箇所）増
- 4 フィールドの提供に関する事項の変更（湖南）  
一部区域の変更に伴う「ふれあいの森」の協定面積の変更及び、  
法人の森を廃止し、新たな協定を締結した「社会貢献の森」を設定。  
馬ヶ瀬山国有林（大津市） 0.86ha減  
奥島山国有林（近江八幡市） 1.34ha（新規）

## 5 樹木採取区の設定（高梁川下流）

設定内容

名称：近畿中国1 新見樹木採取区

はげたに ようごやま ひたにやま  
国有林：兀谷、用郷山、樋谷山国有林

面積：251ha設定



用郷山国有林（新見市）



◇公告縦覧期間

1 2月23日～1月24日（30日間）

◇府県知事、市町村長への意見聴取

1月25日～2月8日

◇計画策定

3月中旬

